

12月終業式奨励

聖書 ルカによる福音書 10章 25-37節（新約聖書 126頁）

25 すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」 26 イエスが、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われると、27 彼は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」 28 イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」

変わらないこと

今日、12月21日が今年の冬至になります。今年一年で最も昼間の時間が短い日です。伊豆シャボテン動物公園のカピバラはゆず湯に入ります。皆さんも明日からの冬休みを前に、まずはゆっくり湯船に浸かり心身共に癒やして下さい。時に適って休むことはとても大切なことです。

さて夏休み明けからここまで、私たちは引き続き制限された自粛の生活を余儀なくされてきました。その中で体育祭、10月中間テスト、英和祭、収穫感謝礼拝、修養会、創立記念礼拝、12月テスト、そして学校クリスマスと続けてこられたのは幸いでした。英和生の皆さん、ご家族の皆様、先生方、職員の皆さんのご理解とご協力に心から感謝しています。

そして本日はこの終業式の後、掲示などでご案内があるように新体操部が中庭で発表をして下さいます。実はリハーサルを少し拝見させて頂いたのですが驚きました。「えっ、あの子、あんなに身体が柔らかいのか」「コスチュームで舞うとあんなに存在感が大きく制服姿とは別人だ」と驚かされました。笑顔がとても素敵でした。

実はひと月ほど前、偶然、新体操部の練習前のアップを拝見しました。折りたたみ椅子を使って柔軟のため開脚をしていました。あそこまでして毎日、身体の柔軟性を保っているのだと驚きました。それは他の運動部、文化部、生徒会の皆さんが他人(ひと)の見えないところでコツコツと努力されていた姿とも重なりました。そして、その努力が体育祭、英和祭、学校クリスマス、また市や県など学外の大会での発表、学業成績、大学入試にもつながっているのではないのでしょうか。

先ほど読んでいただいた聖書で、律法の専門家は「何をしたら」とイエスに聞きました。するとイエスは「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われました。彼は神様を愛し、隣人を自分のように愛することですと答え、イエスも正しい答えだと言われました。しかし、その後イエスは「それを実行しなさい」と言われています。

イエスは最も大切なことを知っているだけでなく、それを実行することが大切だと言っています。知ることは大切なことです。でも人間は忘れる生き物です。ですから毎日繰り返し確認するのです。さらにイエスは確認するだけでなく、それを実行することで本当に知ることになると言っています。

英和女学院は「神様を愛し、隣人を自分のように愛すること」を大切にしてきました。それを私たちは繰り返し祈りのうちに確認しています。そして生徒会活動、部活動、授業、家庭学習、将来の進

路へ向かって、こつこつと学び続ける中で実行しています。

それは時が良くても悪くても変わらないことです。むしろ困難や課題と向き合い、不安で、不自由で、弱い時こそ、隣人を自分のように愛する、互いに愛し合うことが大切なことだと教えられているのです。どうか冬休みの間もそのリズムを大切にして過ごされますようにお祈りしています。

(しばらく黙祷しましょう)

祈禱 祈りましょう

私たちが愛し、励まされる主よ。

今、私たちは12月の終業式を迎え、2020年の営みを終えようとしています。私たちは世界の人々と共に、いまだ困難な日々にもありながらも互いに愛し合うことの大切さを知り、努めています。

どうか今も被災され避難生活を続けている方々、感染症と向き合っている方々、貧しさに希望を失いかけている方々を覚えて祈ります。どうかあなたの光に励まされ、共に喜びと希望を抱くことができますようにお導き下さい。冬休みの間も生徒、教職員の安全で健康な生活を守り、自ら学び、共に学び合い成長させて下さい。主イエス・キリストによってお願い致します。アーメン